

地区名	陶地区	番号	1
タイトル	東濃厚生病院の後利用について		
ご意見の内容			
<p>新病院の建設については、たくさんの意見を地元で伺っている。陶町から新病院へ行くには瑞浪のまちなかを経由して行くことになる。高齢者にはとても大変な話である。</p> <p>こうした意味もあって、東濃厚生病院には、ぜひたくさんの診療機能を残していただきたい。高齢になると病院に通うことが増える。それぞれが色々な病気を抱え、幅広い検査機能も必要。色々な分野の医師を厚生病院に残していただくよう協議に臨んでいただきたい。</p> <p>また、市民はどういう形で協議に参加できるのか。今後その協議がどのように進むのかを聞きたい。</p> <p>本当に困っている。本気で臨んでいただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>JA岐阜厚生連より、医師の補充が困難であり、今後、病院の機能が維持できない状況となると聞いています。</p> <p>土岐市立総合病院と東濃厚生病院を統合し、より高度な機能を備えた新病院とすることにより、医師の確保に期待ができます。</p> <p>現在、JA岐阜厚生連のネットワークを生かし、新病院の医師の確保を進めていただいております。</p> <p>この地域に新病院という形で2次医療を残すことが、今後のためにも重要であると考えています。</p> <p>【補足】 東濃厚生病院の後利用について、JA岐阜厚生連、瑞浪市、恵那市で協議会を立ち上げ検討を進めております。JA岐阜厚生連には、診療所として一次医療を提供していただくよう強く要望しております。</p>			

地区名	陶地区	番号	2
タイトル	新病院へのアクセスについて		
ご意見の内容			
<p>先般の選挙の際、「誰もが新病院へ通院できる交通アクセスの確保」を訴えてみえた。誰もがとは、全ての方がという意味と捉える。</p> <p>瑞浪のまちなかを經由しなくても陶町から新病院へ通院できるシステムづくり可能ではないか。効率的な方法であると思うので、検討をお願いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>国土交通省でも他分野の連携したシステムの検討に乗り出しており、さらにこの先に自動運転があります。既に実用化が進んでいるまちもあり、国土交通省には、自動運転レベル4の実証実験を瑞浪市でできないかを相談しています。また、現在、地域公共交通計画の策定中ではありますが、この計画をもって国土交通省に相談していきたいと考えています。</p> <p>ただし、これは長期的な話であるため、新病院が開院する際に、どうあるべきかは検討が必要です。ご意見を重く受け止め、今後も検討を続けていきます。</p>			

地区名	陶地区	番号	3
タイトル	陶町における若者の減少について（複式学級、学習支援）		
ご意見の内容			
<p>陶町では、小学生が30年前は333人。20年前は225人（34%減）。10年前は148人（34%減）、今、小学生が67人（54%減）。さらに10年進めば30人を下回るのではないか。小学校の複式学級という話が出て、それならば他地域に出ていった方がいいという考えを持つ方が出てくることを心配する。釜戸町や日吉町でも同じ課題があると思う。</p> <p>また、一日中子どもを預かってもらえる施設が陶町にはないことも課題であり、過去に市に相談に行ったことがあるが相手にしてもらえなかった経緯がある。</p> <p>地元で学習支援を始めたきっかけは、子どもの勉強をみてもらいたいという親の希望があるからであり、これについても市に相談したことがあったが、まちなかではやっているが、陶ではできないという言い方で断られた。</p> <p>瑞浪駅周辺再開発事業に反対する。「未来の子どもたちに渡せるまち」とは何か（陶町がこのような現状であるのに・・・）。子どもたちがいなくなってしまう。これは若い世代もいなくなるといこと。</p> <p>陶町に残ってもらえるような支援をすることの方が大事ではないか。複式学級にせずとも年間200万円あれば1人分の雇用により国語や算数などを個別に教えることができるはずである。釜戸、日吉、陶にその費用を費やしたとしても駅北に費やす費用より下回るはずである。</p> <p>これに関連してぜひアンケートを取ってもらいたい。駅北公共施設の整備を進めるのか、陶町の学校が複式学級にならないよう支援するのか。その上で事業を進めてもらいたい。</p> <p>また、高校生の通学費の課題についても、以前に相談したことがある。その際、考えましようと言ってくれたが、一向に何の話もない。550円のバス代のままであるが、恵那市は200円とした。恵那市の予算は2,000万円を実現したとのこと。多治見市も時間帯により200円としている。瑞浪市でもそれをすれば、陶町に残ろうと思う方も増えると思う。</p>			
市長の回答	担当課	総務課 企画政策課 学校教育課	
<p>市では全体で800もの事業を進めています。</p> <p>駅北複合公共施設について、5年ほど前に瑞浪市で「公共施設再編成プラン」をまとめました。必要な公共施設は残す、統合する、不要な施設は廃止するなどを検討しまとめたものです。その中では、将来、公共施設全体の床面積を30%減らすという目標を立てました。これについては、策定当時から市長と語る会でも丁寧に説明してきました。</p> <p>図書館や文化センターの今後の在り方についてもその中で計画したもので、必要な施設とし、今、建て替えの時期を迎えています。またこれらの施設は、土岐川沿いのため、ハザードマップでいう危険な区域です。こうした状況も踏まえ、別の場所に移すのかということ判断してきました。</p> <p>市長に就任した際、負債が312億円あり、基金が39億円という状況でした。以降、行財政改革を進める中で、必要な事業を手掛けてきました。現在では当時より111億円もの負債が減り、基金は約78億円あります。次につなげていくための投資としてその準備をしてきました。</p> <p>市では、総合的に考えて必要な事業を選別しながら進めていることをご理解いただきたいです。</p> <p>陶町だけでなく市全体の課題として複式学級になったときに、どんな体制であるべきかは持ち帰って考えたいです。</p>			

地区名	陶地区	番号	4
タイトル	瑞浪駅周辺再開発事業について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪駅に降りた人が、瑞浪をどんなまちだと思うか。  少なくとも分譲マンションや複合公共施設ではないのではないか。  降りたときに何も感じられないものを作っても意味がないと思う。どんな想いを  もって開発事業を進めているのか。  駅前で魅力を感じられるようにしていただきたい。  外国人を取り込んでいく何かを取り入れていけないと思う。  また、陶町から瑞浪駅を利用する際は、駐車場を利用することが多い。  駐車場が少ないのは困る。文化センターや図書館で駐車場がつぶれるのは困るた  め、利便性についても考えていただきたい。  何をするにも遠い。虐げられている感じがしてならない。瑞浪市は町民のために  やっていただいたと思える何かを実現してほしい。大多数の人が満足できることを  行ってほしい。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>魅力あるまちとなることを目的に、計画を進めているので、これから具体的に考  えていきたいです。市民の皆様のニーズや専門家の意見を聞きながら進めていきま  す。いただいた意見はしっかりと受け止め事業にあたっていく。  駅北には、450～500台の駐車場を確保する予定です。また、駅北に改札を作る  ためJRと協議し、利便性をあげるように進めています。  駅南の朝夕の混雑を何とかしてほしいとの意見をいただいています。駅北改札が  出来れば利用者が分散し、何割かは低減できると考えています。</p>			

地区名	陶地区	番号	5
タイトル	瑞浪駅周辺への瑞浪市観光協会の設置について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市観光協会を駅北複合公共施設に入れていただきたい。  まちなイベントも観光協会がPRしてくれているが、今のちゃわん屋みずなみの位置に観光協会があってはアクセスする者はいない。  瑞浪駅に降りた人が、瑞浪市がどういうまちかを知るためには、駅前に観光協会があって機能するものである。  まちづくりは人づくりと考える。若手を育てるには人づくりが重要。これは市長の一声でやっていかないと、個々ではなかなか進まないものである。政策に入れていただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 商工課	
<p>瑞浪市観光協会や観光情報発信機能を駅北複合公共施設に入れるかについては、今後の検討課題として受け止めます。  魅力ある駅周辺にするには、市役所だけではできません。民間企業に参加いただいて活性化するものだと考えます。産業界、経済界の方々が参入するなどの連携できれば、投資した費用がより生きてくると思います。  地域の皆様の要望をいただきながら一緒になって事業を進めていかないと瑞浪の活性化は進まないと考えます。  商工会議所とも連携して進めていきます。若い経営者の方が瑞浪市を良くするために提案をいただいています。瑞浪市の産業をどうするか、まちをどうするかを考えていただいています。人づくりについては、市として参加、協力していきたいと考えています。</p>			